

障害者就業・生活支援 センターにおける雇用 勧奨の状況と課題

くまもと障がい者ワーク・ライフサポートセンター「縁」

平江 由紀



はじめに

- ▶ 熊本障害者就業・生活支援センターでは、障害者専用求人に限らず、一般求人やインターネット求人なども対象として雇用勧奨に取り組んでいる
- ▶ 先行調査で、障害者受け入れに前向きな企業の多さと、本人理由による応募辞退の多さが判明
- ▶ 本研究の目的
 - ・ 企業ニーズの明確化
 - ・ 効果的なアプローチ方法検討



くまもと障がい者ワーク・ライフサポートセンター「縁」とは

障がい者の就労・生活支援のサポート体制

(くまもと障がい者ワーク・ライフサポートセンター「縁」)

熊本障害者就業・生活支援センター
(国・県設置)

一体的に活動

熊本市障がい者就労・生活支援センター
(市設置)

【相談・面接】

- 働く意欲・希望の確認
- 利用者登録
- ご本人についての情報収集
- 支援プログラムの作成・検討

【就労支援】

- 公共職業安定所への同行支援
- 障害者職業センターとの連携
- 生活支援機関への案内

【職場開拓】

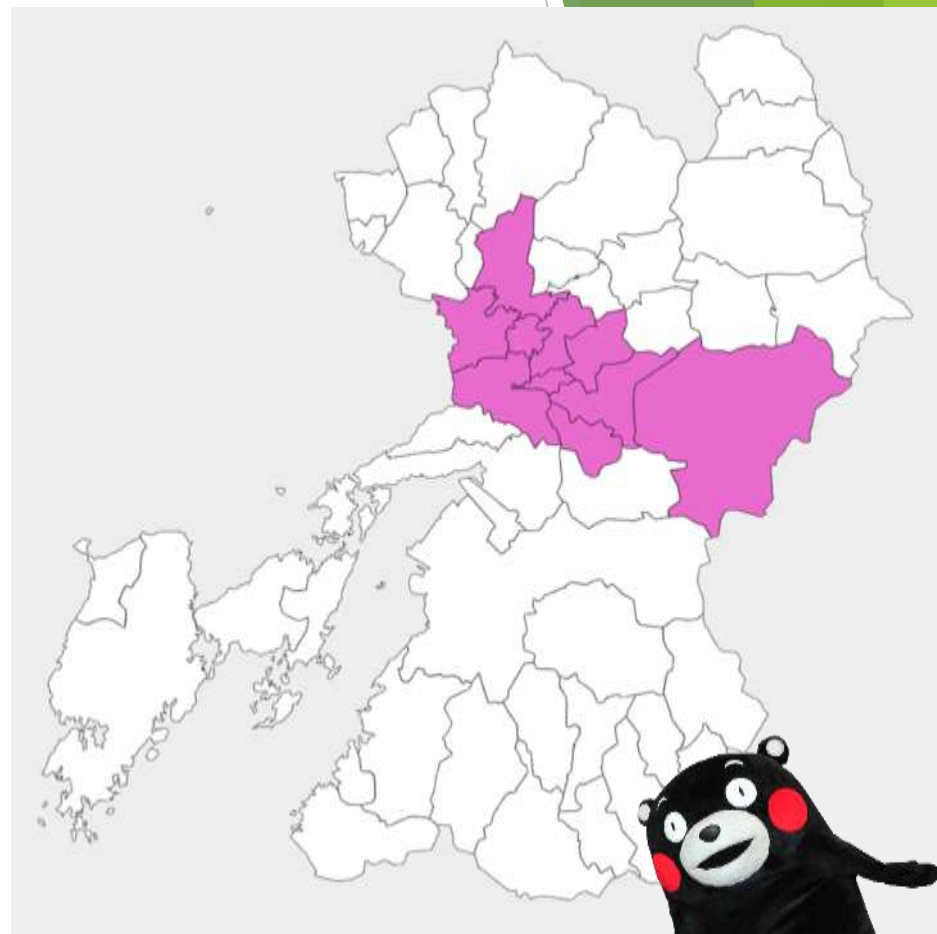
- 必要に応じて、就職前訓練や職場実習および各種支援制度の案内
- 利用者の希望に沿った求人や職場実習受け入れ企業等を開拓

【定着支援】

- 就職後、長く働き続けることができるように、企業と連携してご本人をサポート

支援圏域と特徴

- ▶ 対象圏域：熊本市及び上益城郡
- ▶ 人口：約80万人
(熊本県全体の約47.8%)
- ▶ 支援機関：HW4カ所
特別支援学校10校
精神科病院57カ所
- ▶ 福祉事業所：移行23カ所
A型・B型約150カ所
- ▶ 登録者数1,248人、新規受付310件
(令和6年度)



調査方法

- ▶ 対象：くまもと障がい者ワーク・ライフサポートセンター「縁」所属の就労支援ワーカー10名
- ▶ 内容：一般企業（障がい者枠を除く）求人への雇用勧奨に関する企業情報、利用者情報、経過記録
- ▶ 期間：約1か月
- ▶ 件数：50件



企業ID	企業名	業種	従業員数	性別	障害者	利用事業	経過	合否	障害種別	性別	年齢	備考
2273	その他の企業	65 HW					条件不適合	×	身体1	障害者	62	家庭会社
2133	食品・飲料	12,313 HW					本人充足	×	知的	障害者	40	
1983	非営利福祉	5,182 HW					資料・面接	○	障害	女性	42	
2258	老人福祉・介	187 HW					資料・面接	○	精神	女性	59	
2247	その他の企業	21 HW					資料・本人充足	×	精神	女性	49	
815	建築・建設	1,100 HW					本人充足	×	障害	女性	49	
2274	医療	4 HW					条件不適合	×	身体2	障害者	70	派遣対応不可
2275	老人福祉・介	30 HW					本人充足	×	身体3	障害者	41	
2276	老人福祉・介	100 HW					本人充足	×	B1	女性	34	
1995	老人福祉・介	140 HW					資料・実習	○	精神	女性	41	
2243	その他の企業	156 HW					条件不適合	×	精神	女性	49	
2230	スポーツ施設	10,113 HW					条件不適合	×	障害	女性	57	
1246	建設	936 HW					条件不適合	×	精神	女性	57	
685	建設	64,000 HW					資料・面接	×	精神	女性	57	
2234	じゃうぶ心算	47 HW					条件不適合	×	精神	女性	49	
1918	印刷製菓業	2,511 HW					条件不適合	×	精神	女性	46	
1470	老人福祉	175 HW					資料・実習	○	B1	女性	34	
2277	老人福祉	163 HW					見学	×	B2	女性	30	派遣不可 経過
322	情報サービス	227 HW					面接	×	知的B1	男性	29	人手不足で辞退です
1220	小売業	292 HW					資料・実習	×	B1	女性	34	資料不足で本人の希望
2217	建設	785 HW					資料・実習	○	知的B1	男性	34	
2128	医療・福祉	130 HW					面接	○	精神「過去に」	男性	53	
1899	製造業	262 HW					資料・実習	×	知的B1	男性	27	障害中に体調不良
2167	医療・福祉	420 HW					面接	×	知的B2	男性	31	経過できず
2252	医療・福祉	45 HW					条件不適合	×	A.S.D	女性	28	経過観察必須
2246	製造業	445 HW					資料・実習	×	精神	女性	49	体力的に無理
1318	食品・飲料	251 HW					条件不適合	×	精神2	障害者	41	
257	医療・福祉	700 HW					条件不適合	×	精神3	男性	42	
354	製造業	71 HW					面接	×	精神3	男性	27	正社員希望前経 条件
1540	医療・福祉	42 HW					面接	○	B1	女性	34	
1822	医療・福祉	181 HW					資料	○	B1	女性	32	
614	医療・福祉	47 HW					見学	○	身体1	男性	64	
2296	医療	25 HW					見学	○	精神2	男性	61	
2265	製造業	1700 HW					条件不適合	×	精神3	男性	27	条件不適合
1961	初等業 小売	1056 インタ					本人充足	×	B2	男性	20	本人充足
960	小売業	4938 HW					本人充足	×	B2	男性	20	本人充足
172	初等業 小売	3423 HW					状況悪い	×	B2	女性	20	状況悪い
290	初等業 小売	1998 HW					条件不適合	×	精神3	女性	36	条件不適合
2278	医療・福祉	257 HW					資料・面接	×	B2	女性	30	
2279	サービス業	42 HW					面接	○	精神3	男性	33	
2267	サービス業	70 HW					面接	×	精神3	男性	54	
674	情報通信業	1178 HW					面接	×	精神3	男性	28	
802	サービス業	43 HW					見学	×	B2	女性	47	
1860	初等業 小売	40 HW					本人充足	×	B2	女性	19	経過
2280	医療・福祉	10 HW					条件不適合	×	身体1	男性	54	経過必須
2288	医療・福祉	0 インタ					本人充足	×	身体2	女性	42	派遣継続求人
1446	サービス業	0 インタ					条件不適合	×	精神3	男性	21	派遣継続求人
1628	製造業 建設	600 HW					本人充足	×	精神3	女性	38	見学後辞退
257	医療・福祉	1460 HW					条件不適合	×	B2	女性	21	経過必須
2080	医療・福祉	29 HW					見学	○	B2	男性	21	

結果

▶ 雇用勧奨の流れ：

希望求人情報 → 電話問い合わせ → 見学・実習 → 本人意思確認 → 応募・面接

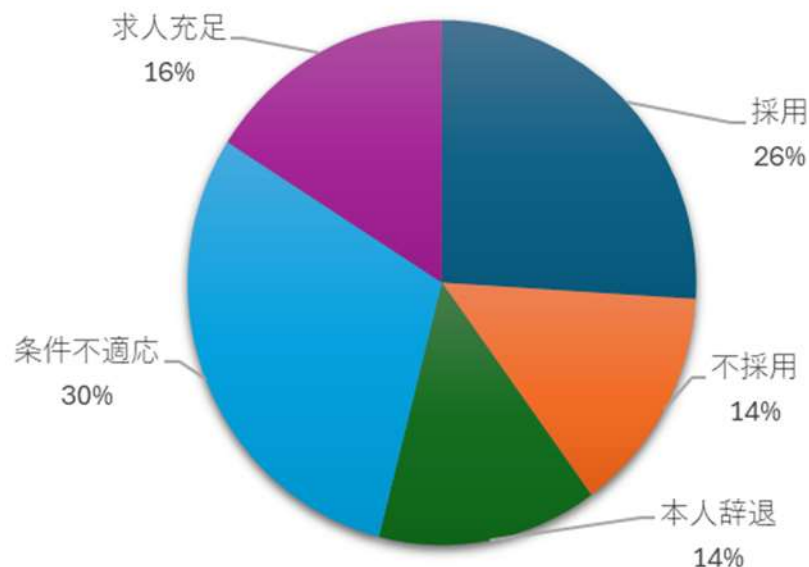
▶ 結果内訳：

採用13件、不採用7件、辞退7件、条件不適合15件、求人充足8件

※辞退：見学、実習後ご利用者より応募辞退

※条件不適合：会社・支援者間で環境面、作業面で業務の切り出しや安全性の確保が難しいと判断されたもの

合否結果内訳



採用に至った企業の産業内訳

▶ 医療・福祉分野

特に老人施設での介護業務・介護補助業務への採用が多い

介護業務の有資格者及び経験者で受け入れが良好

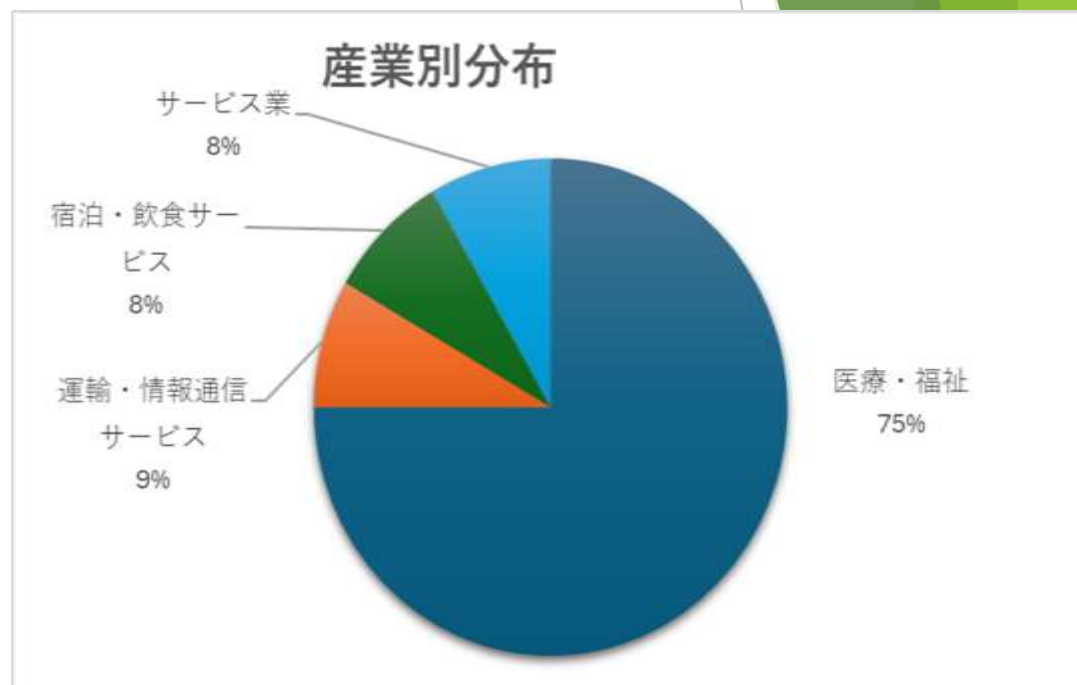
▶ 辞退・不適応の要因

運送業・建築業では安全性の確保の困難

人手不足の企業で配慮ができない

利用者の想定より作業内容が煩雑であった

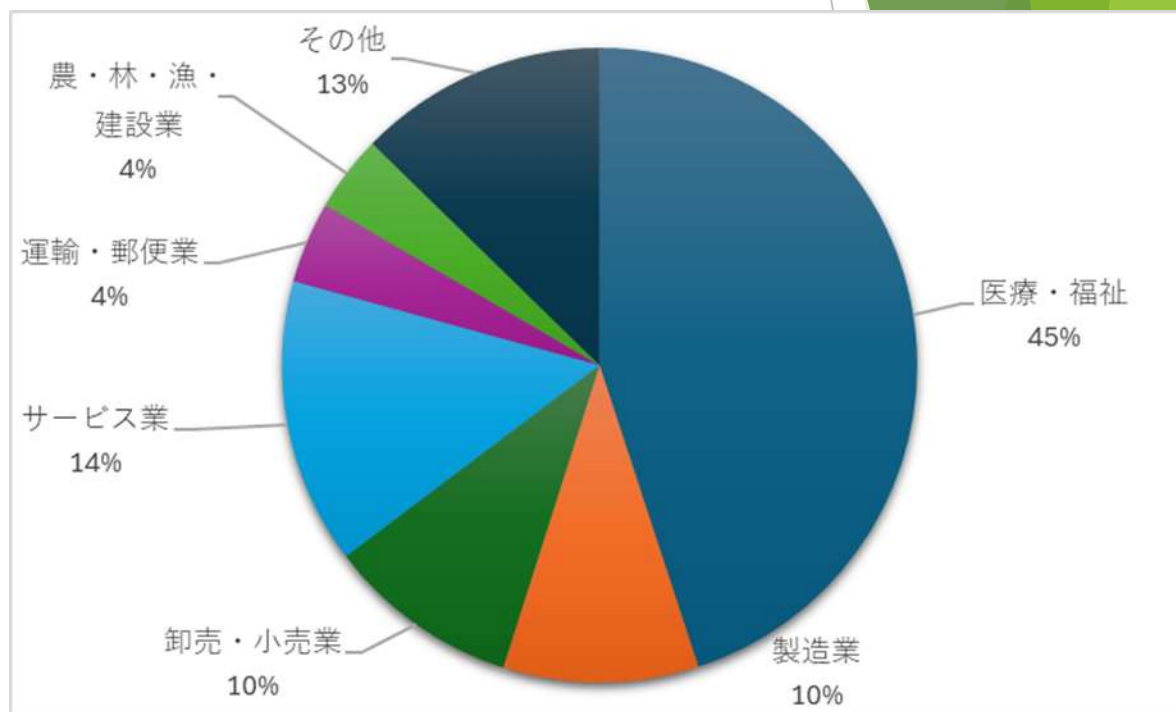
求める業務への対応が難しいなど



熊本県の雇用状況との比較

▶ 熊本県 令和6年度 新規障害者雇用の産 業別内訳

- ・ 医療福祉分野における障がい理解度の高さ
- ・ 製造、販売・小売、サービス業で柔軟な業務対応や補助業務の切り出しによる職務適応
- ・ 農林水産業、建築業では安全確保や体力面の課題

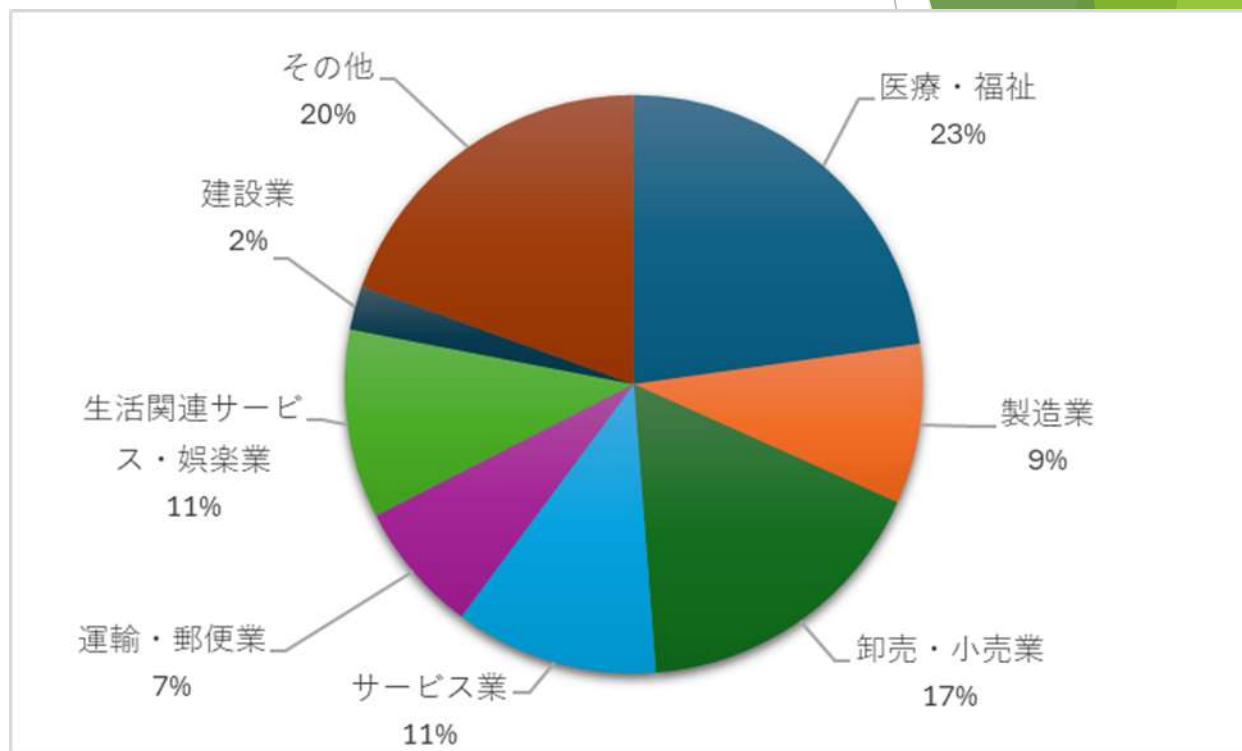


当センター利用者の就労状況 (令和6年度就職者126件)

- ▶ 県下の雇用状況と比べ医療福祉分野の比重が少ない

→支援対象エリアが人口の集中している政令指定都市を含んでおり、小売業やサービス業など3次産業の企業が多い

→利用者のニーズが多岐に及んでおり、多職種へのマッチングの支援を行っている



支援の工夫と今後に向けて ～センター内

▶ 関係機関との連携

毎月1回実施のHW・職業Cとの三者会議にて企業情報共有

⇒企業訪問時にHW,職業Cにも相談し制度面の詳しい説明を実施

▶ 所内での情報共有

定期会議、始業前ミーティング、回覧、掲示

ケース記録にてアプローチ時の対応等も共有

▶ 今後

所内でクラウド型データベースを活用した、支援情報の一元管理も検討

支援の工夫と今後に向けて ～企業向け

- ▶ 企業訪問時にハローワーク、職業センターにも同行していただき、助成金やジョブコーチ等利用可能な支援についてご案内
- ▶ 熊本市障がい者自立支援協議会就労部会作成の「しごといく」を活用した好事例の紹介
- ▶ 企業向け雇用セミナーの開催
- ▶ 職業見学、実習の活用



今後に向けて

- ▶ 業務の詳細をお聞きした後・見学後のミスマッチ
⇒求人票のだけではわからない情報の重要性
- ▶ 雇用勧奨の多さ
⇒障害者専用求人と求職者の求める条件が合っていない
- ▶ 求職者が希望する働き方や条件と、企業が求人票で提示する条件との間にどのような差があるのかを明らかにし、今後のマッチング精度の向上や支援方法の改善を検討していく